

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭63-184946

⑤Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	⑬公開 昭和63年(1988)7月30日
G 11 B 15/02	3 2 8	S-8022-5D	
G 05 B 19/02		H-7740-5H	
G 11 B 15/02	3 5 5	8022-5D	審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 ビデオテープレコーダ制御装置

⑮特 願 昭62-17824

⑯出 願 昭62(1987)1月27日

⑰発明者 中 本 伸 也 大阪府大阪市北区梅田1丁目8番17号 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社内

⑱出 願 人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号

⑲代 理 人 弁理士 島 田 登

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ビデオテープレコーダ制御装置

## 2. 特許請求の範囲

(1)ビデオテープレコーダによるテレビ番組の録画を制御できるビデオテープレコーダ制御装置において、録画すべきテレビ番組の日時、チャンネルを予めセットしておき、該当日時になると起動する予約タイマと、前記録画すべきテレビ番組のテーマ曲のデータを予めセットしておくためのメモリと、前記予約タイマの起動にもとづき、前記メモリから該当する前記録画すべきテレビ番組のテーマ曲を読み出して入力すると共に、該当日時より該当チャンネルのテレビジョン信号をも入力し、両入力を比較して両者が一致したとき、該当する前記録画すべきテレビ番組の番組始まり検出信号を送出する音声認識装置と、前記予約タイマによって前記録画すべきテレビ番組の録画時間が予めセットされ、前記音声認識装置からの前記番組始まり検出信号により起動し、前記ビデオテー

プレコーダの録画処理部を作動させ、設定された録画時間分当該テレビ番組の録画をおこなわせるサブタイマとを具備してなることを特徴とするビデオテープレコーダ制御装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は、ビデオテープレコーダ(以下、略称して、VTRともいう。)制御装置に関し、特にテレビ番組の録画を行うビデオテープレコーダ制御装置に関する。

## 〔従来の技術〕

従来、VTRで、あるテレビ番組の録画を行うためには、第2図に示す如くVTRの予約タイマ1に、たとえばウィーク指定(現在の週を1週目とすると、第何週目に該当するかをセットすること)をし、次に曜日を設定し、次に録画開始時刻と録画終了時刻をテレビ番組の放送時間に合わせてセットし、次に録画モードを標準モードか3倍モードにセットし、更に該当チャンネルをセットするといったように、所定のセット方法で所定

事項をセットしてやることにより、テレビ番組の録画予約ができる。そして、予約タイマ1にセットされた該当日の該当する開始時刻になると、予約タイマ1が起動し（オンし）、これにもとづいてVTRの録画処理部2が作動を開始する。従って、VTR内蔵のテレビチューナから録画予約したテレビ番組のテレビジョン信号が取り出され、自動的に録画処理部2にて録画が行われ、予約タイマ1が動作終了すると、即ち予約タイマ1に予めセットした録画終了時刻になると、予約タイマ1の不動作（オフ）にもとづき録画処理部2は録画を停止する。これにより、テレビ番組の録画が予約した通りに行われる。

〔発明が解決しようとする問題点〕

上述した従来のVTRでは、予約タイマ1に、録画開始時刻、録画終了時刻がテレビ番組の放送時間に合わせて一度セットされてしまうと、その後、録画すべきテレビ番組の前のテレビ番組の延長などで録画すべきテレビ番組の放送開始時間が変更になっても、予めセットされた時刻になると

予約タイマ1が起動し、VTRの録画処理部2により録画が開始されてしまうため、録画すべき目的のテレビ番組の前に余分なテレビ番組が録画されていたり、テープの長さ等によっては録画すべき目的のテレビ番組がテープ切れにより途中で録画が終わってしまうというような問題点がある。

そこで、本発明の目的は、録画すべきテレビ番組の前のテレビ番組の延長などで、その録画すべきテレビ番組の放送開始時間が変更になっても、前記録画すべきテレビ番組の前に余分な（別の）テレビ番組が録画されていたり、テープ切れで前記録画すべきテレビ番組が途中で中断されてしまうようなことを防止できるようにしたビデオテープレコーダ制御装置を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、ビデオテープレコーダによるテレビ番組の録画を制御できるビデオテープレコーダ制御装置において、録画すべきテレビ番組の日時、チャンネルを予めセットしておき、該当日時になると起動する予約タイマと、前記録画すべきテレ

ビ番組のテーマ曲のデータを予めセットしておくためのメモリと、前記<sup>予約</sup>タイマの起動にもとづき、前記メモリから該当する前記録画すべきテレビ番組のテーマ曲を読みだして入力すると共に、該当日時より該当チャンネルのテレビジョン信号をも入力し、両入力を比較して両者が一致したとき、該当する前記録画すべきテレビ番組の番組始まり検出信号を送出する音声認識装置と、前記予約タイマによって前記録画すべきテレビ番組の録画時間が予めセットされ、前記音声認識装置からの前記番組始まり検出信号により起動し、前記ビデオテープレコーダの録画処理部を作動させ、設定された録画時間分の当該テレビ番組の録画を行わせるサブタイマとを具備してなるものである。

〔作用〕

予約タイマの起動にもとづき、音声認識装置は、メモリから該当するテレビ番組のテーマ曲を読み出して入力すると共に、該当日時より該当チャンネルのテレビジョン信号をも入力し、両入力を比較し、テレビジョン信号が該当するテレビ番組の

テーマ曲を有したとき、録画すべき目的の該当テレビ番組の始まりを検出したことになり、サブタイマに番組始まり検出信号を送出してサブタイマを起動させる。これにより、サブタイマは起動すると共に、ビデオテープレコーダの録画処理部を作動させ、予約タイマによって予め設定された該当テレビ番組の放送時間分、即ち録音時間分該当テレビ番組の録画を行わせる。従って、サブタイマは、該当テレビ番組の前のテレビ番組が時間延長されたことなどにより、該当テレビ番組の放送開始時間が変更された場合には、該当テレビ番組の始まりを検出した時点と、前記予約タイマにセットした録画開始時刻に置き換える働きを有している。そして、予約タイマに予約した通りに録画すべきテレビ番組のみが設定した放送時間分録画されることになり、録画されたテレビ番組の前に目的としない他のテレビ番組が録画されていたり、録画すべきテレビ番組がテープ切れのため途中で録画が終わるといった従来の問題点を解決することが出来る。

## 【実施例】

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明によるビデオテーブルコード制御装置の一実施例を示すブロック図である。同図において、ビデオテーブルコードによるテレビ番組の録画を制御できるビデオテーブルコード制御装置は、VTRの予約タイマ11とメモリ12と音声認識装置13とサブタイマ14を備えている。VTRの予約タイマ11は、録画すべきテレビ番組の日時、チャンネルなどを予めセットしておき、該当日時になると起動する（オンする）。ここで、予約タイマ11に日時、チャンネルなどのセットの仕方については種々あるが、たとえば前述したようにウィーク指定（現在の週を第1週として、第何週めに該当するかをセットすること）をし、次に曜日をセットし、次に録画開始時刻と録画終了時刻をテレビ番組の放送時間に合わせてセットし、更に録画モードを標準モードか3倍モードにセットし、該当チャンネルをセットするといったようにすることによりなされる。

1によって、録画すべきテレビ番組の録画時間、即ち録画終了時刻と録画開始時刻との差分が算出され、サブタイマ14にセットされている。サブタイマ14は音声認識装置13からの前記番組始まり検出信号により起動し、同時にVTRの録画処理部15を作動させ、録画を開始させる。そしてサブタイマ14は、設定された録画時間が終了すると、録画停止信号をVTRの録画処理部15に送出して、VTRの録画処理部15の動作を停止させ、録画を停止させる。これにより、予約タイマ11によって予め設定された該当テレビ番組の放送時間分を、録画時間分として該当テレビ番組の録画を行うことができる。

従って、サブタイマ14は、録画すべき該当テレビ番組の前のテレビ番組が時間延長されたことなどにより、その録画すべき該当テレビ番組の放送開始時間に変更された場合には、前記録画すべき該当テレビ番組の始まりを検出した時点から、予約タイマ11にセットした録画開始時刻に置き換える働きを有している。そして、予約タイマ11

次にメモリ12は、録画すべきテレビ番組のテーマ曲のデータを予めセットしておくためのものである。音声認識装置13は、前述した予約タイマ11の起動にもとづき、メモリ12から該当する録画すべきテレビ番組のテーマ曲を読み出して入力すると共に、VTR内蔵のテレビチューナから該当する日時以後（該当日の該当時刻よりその後）の該当チャンネルのテレビジョン信号をも入力し、両入力を比較し、テレビジョン信号により該当するテーマ曲が認識できないときは、録画すべきテレビ番組の番組始まり検出信号をサブタイマ14に送出しない。従って、サブタイマ14は起動せず、VTRの録画処理部15も作動せず、録画が開始されないようになっている。

また、音声認識装置13は、両入力を比較し、テレビジョン信号が該当するテーマ曲を有したとき、即ちテレビジョン信号により該当するテーマ曲が認識できたとき、録画すべきテレビ番組の番組始まり検出信号をサブタイマ14に送出し、サブタイマ14を起動させる。一方、予約タイマ1

に予約した通りに録画すべきテレビ番組のみが設定した放送時間分録画されることになり、録画されたテレビ番組の前に目的としない他のテレビ番組が録画されていたり、録画すべきテレビ番組がテープ切れのため途中で録画が終わってしまったりすることがなくなる。

本発明は上記実施例に限定されることなく、種々の応用および変形が考えられる。たとえば、予約タイマ11に対するセットすべき項目やセットの仕方についても種々のものが考えられるが、要は録画すべきテレビ番組の日時（録画開始時刻、録画終了時刻をふくむ）、チャンネルが少なくとも特定されることを要する。

## 【発明の効果】

上述したように本発明を用いれば、予約タイマにセットした時刻になっても、テレビジョン信号により録画すべき該当テレビ番組のテーマ曲が認識できるまで、VTRの録画処理部は作動開始せず、従って、予約した通りに録画すべき該当テレビ番組のみが設定した放送時間分録画されること

になり、その録画すべき該当テレビ番組より前のテレビ番組の延長などで、前記録画すべき該当テレビ番組の放送開始時間が変更された場合でも、録画された前記該当テレビ番組の前に目的としない別のテレビ番組が録画されていたり、テープ切れのため録画すべき該当テレビ番組の録画が途中で中断されてしまうようなことがなくなるなどの優れた効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

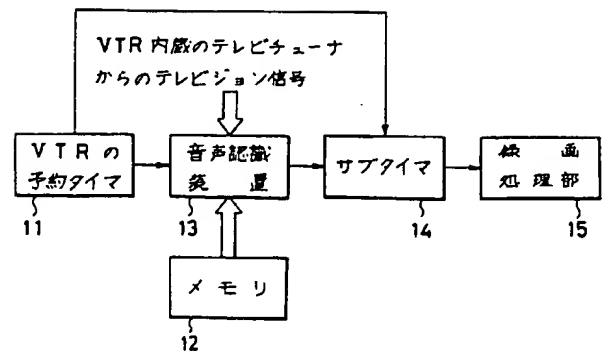
第1図は本発明によるビデオテープレコーダ制御装置の一実施例を示すブロック図、第2図は従来のビデオテープレコーダ制御装置の一例を示すブロック図である。

11…VTRの予約タイム、12…メモリ、  
13…音声認識装置、14…サブタイム、15…録画処理部。

特許出願人

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社  
代理人 弁理士 島田 登

第1図



第2図

